



Weekly Report

名古屋みなと

2019~2020

承認 1966年 5月12日 例会日 金曜日 12:30
 例会場 名古屋マリオットアソシアホテル
 事務局 TEL 052-586-2955 FAX 052-586-2956
 E-Mail office@portnagoya-rc.com
 URL <http://www.portnagoya-rc.com>
 会長 芹澤謙一 幹事長 瀬廣幸
 広報・雑誌・会報委員長 加藤茂春

ROTARY CONNECTS THE WORLD ロータリーは世界をつなぐ R.I. 会長 マーク・ダニエル・マローニー



第 2556 回例会 No.6
 2019年(令和元年)8月30日(金) 晴
 「手に手つないで」

出席報告

会員 69名中 出席 50名 出席率 72.46%
 前々回修正出席率 100%
 ○ゲスト岸上 泰道君ご子息 岸上 素久氏

会長挨拶



「ロータリーの例会について」
 ロータリーのご概念とは親睦と奉仕であります。実は例会も親睦と奉仕によって成り立っているのです。例会の時間というのは各国によって違いがあり1時間半あ

るいは2時間なんていう国もありますが、日本のロータリークラブでは例会時間は1時間となっております。点鐘後最初の30分間は食事などいわば団欒の時間すなわち親睦の時間です。後の30分間は奉仕に耳を傾けるいわゆる卓話の時間です。

この二つの要素がなければロータリーの例会とは言えないのです。

ロータリーの例会は会員のためだけのものであり他人が入ることは原則許されないのであります。

それほど規律の厳格な場なのです。ただ一つの例外は同じロータリアンのビジターおよび会員が招聘したゲストであり、これはメイクアップの制度によって世界中このクラブにも堂々と入ることができるのです。

アメリカのアナハイムにあるガバナーの研修会場には「Enter to Learn, Go forth to Serve」

「入りて学び、出でて奉仕せよ」と書かれているようですが、これはロータリー活動の実体を的確に表現した言葉とされています。この入りて学ぶとはお互い仲良く

なって学びあうこと、つまり親睦のことです。

ロータリーの例会もこれと同じであり、例会の場で分かち合いの精神による事業の永続性を学び友情を深め、自己改善を図り、その結果として奉仕の心が育まれてきます。そして例会を出れば例会で高められた奉仕の心をもって職場、家庭、地域社会に帰り奉仕活動を実践する。

これが理想とされるロータリーライフということです。

この点をとらえて日本ロータリーの創設者米山梅吉氏は「ロータリーの例会は人生の道場である」と言われたのだそうです。

「例会出席について」

先ほども申し上げましたが、例会の最初の30分は食事をしながら親睦を深める時間であり、後の30分は奉仕に耳を傾ける卓話の時間です。

従って最初から最後まで在籍して初めて例会に出席したことの意味があるのです。

ところが近年、規定審議会で例会出席についての60%ルールというものが出来たため、卓話の始まる前に退席するロータリアンが増えてきていると聞きます。これでは親睦だけのロータリーになってしまい、奉仕の時間を損なってしまいます。

これは60%ルール本来の趣旨を誤解するものです。60%ルールは、例会に出席した場合に、それが出席と認められるためには例会の60%は在席していなければならないというだけのことであり、60%出席すれば退席する権利があるということではありません。

あくまでも急用が出来たとか体調が悪くなったとか緊急事態が発生した際のためのルールだということを理解すべきです。

あらかじめ途中退席しなければならないことが分かっている場合には、例会に出席するべきではないのです。また、卓話の始まる前に退席することは、30分しか在席しておらず、この60%ルールにも該当しない、厳密には出席とは認められないということです。

例会の意味、重要性をいま一度再認識しましょう。

挨拶

6月25日に逝去された岸上 泰道様のご子息
岸上 素久様が例会でご挨拶されました。



伝達

マルチプル・ポール・ハリスフェローピン
長瀬 廣幸君



ニコBOX

(父が長い間お世話になりました)

*お志をいただきました。 岸上君ご子息素久氏
(先週の東北復興支援事業お疲れ様でした。参加して
いただいた21名の会員の皆様に感謝します)

芹澤会長

(棚橋前幹事、会計報告よろしくお願ひいたします。
先週の仙台では大変お暑い中多数の皆様のご参加を
いただき、無事に事業を成功させることができ、感謝
申し上げます。本日も報告をさせていただきます)

長瀬幹事

(父の葬儀に際しご弔問、御供花を賜り有難うござい
ました。お礼申し上げます) 岡本君

(先週の東北復興支援事業に皆様の参加、ご苦労様で
した) 岩佐君

(猛暑も一段落して少し過ごしやすくなりました)

山川君

(先週の東北復興支援活動ではロータリアンとして
“しっかり汗”をかいてきました。皆様と良い奉仕がで
きました) 野崎君

(加藤(茂)君先日はありがとうございました) 河野君
(年度初めニコBox) 箕浦君

本日合計	229,000 円
累 計	889,100 円

幹事報告

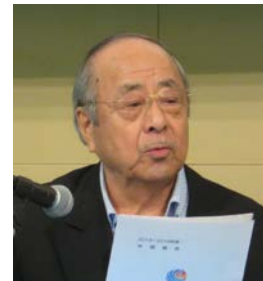
長瀬 廣幸君

1. 9月27日のガバナー補佐訪問の際、例会終
了後に第2回クラブアッセンブリーが開催
されますので、ご案内を差し上げた皆様はご
予定をお願いいたします。なお、当日ご都合
がつかない場合、委員長は必ず代理出席者
のご手配をお願いします。

会計報告

田島前会長の挨拶の後、棚橋前幹事が資金収支
の説明を行いました。その後中村会計監査より
本会計、ニコBOX会計、基金の3部門の監査の
結果、正確である旨報告がありました。

田島前会長の進行により2018~2019年度会
計報告は出席者全員のご承認をいただきました。



東北復興支援事業報告

幹事 長瀬 廣幸君

8月23日(土)当クラブは、仙台レインボーロ
ータークラブ様のご協力のもと、東日本大震
災で被害を受けた宮城県浦戸諸島・野々島にあ
る塩竈市立浦戸小中学校へ当クラブ一同21名
で赴き、草刈機・ストーブ・除雪機を寄贈する
とともに、真夏の炎天下の中、草刈り支援を行いま
した。

同校は小規模特認校の指定を受け、とても豊
かな自然環境の下、先生も生徒も一緒にフェリ
ーで通学するというユニークな学校ですが、東
日本大震災の影響を受け、島の船着場や通学路

が甚大な被害に遭い、夏には雑草が伸び放題、冬には島嶼地のため厳しい寒さと積雪があり、生徒さん達の通学・学習環境の整備に一役買えないかと考え、この奉仕活動を実施するに至りました。

当日は早朝からフェリーで野々島へ渡り、贈呈式の後早速草刈り作業開始。前日の曇天とは打って変わって真夏の太陽が照りつける中、猛烈に汗をかきながらの草むしりと、贈呈した草刈機を使っの校庭および校舎周辺の雑草を一同で刈り取って、すっきりとした環境が整い、先生方・生徒さん・父兄および島民の皆さんから大変温かい感謝のお言葉をいただきました。

これから寒くなるとストーブと除雪機の出番が待っていますが、当クラブとしてはこのご縁を大切にして、未来を担う子供達の支援をこれからも継続していければと一同感激した、素晴らしい体験をさせていただきました。



月	日	今後の例会予定
9	13	敬老例会
	20	休 会
	27	伊藤ガバナー補佐訪問
10	4	米山月間卓話 「未来に向かって」 元米山奨学生 トラエフサイドホン君
	11	伊藤ガバナー公式訪問 名古屋名駅・名古屋丸の内・ 名古屋みなと・3RC 合同例会
	18	WFF 参加 例会変更 12日(土) 11:30 エディオン久屋広場
	25	Partner's Night 例会変更 18:00 THE KAWABUN NAGOYA
11	1	港友例会
	8	卓話 J.フロントリテイリング(株) 特別顧問 岡田 邦彦君
	15	地区大会 例会変更 10日(日) 10:00 ホテルナゴヤキャッスル
	22	休 会
	29	ロータリー財団卓話 「ロータリー財団の多様性に ついて」 地区ロータリー財団委員会 副委員長 中村 公彦君
12	6	年次総会 第2回クラブフォーラム
	13	港友例会
	20	忘年家族会 例会変更 18:00 17階「アゼリア」
	27	休 会